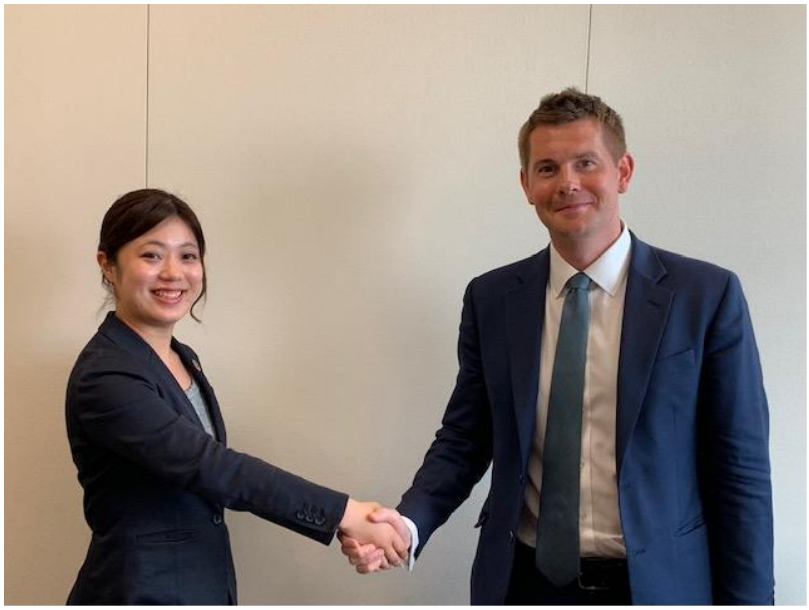
世界小型株厳選ファンド

運用会社に聞く、「世界小型株厳選ファンド」の魅力

平素より「世界小型株厳選ファンド」（以下、当ファンド）をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。

2019年9月に当ファンドの実質的な運用会社である、スタンダード・ライフ・インベストメンツ・リミテッドのグラハム・マックロウ氏がスコットランドから来日したことを受け、当ファンドの魅力についてインタビューを行いましたので、ご報告いたします。

（聞き手　三井住友DSアセットマネジメント　投信営業第一部　若松紅里、写真左）



スタンダード・ライフ・インベストメンツ・リミテッド
エクイティ・インベストメント・スペシャリスト
グラハム・マックロウ氏（写真右）

英国ヘリオット・ワット大学で学士号取得

株式戦略のマーケティングおよび開発業務を担当。投資家のニーズを深く理解することにより、世界中の様々な投資家に向けて、新たな株式戦略とカスタマイズされた投資ソリューションの開発を行っています。

スタンダード・ライフ・インベストメンツ・リミテッドの概要

- スタンダード・ライフ・インベストメンツ・リミテッドは、英国最大級の資産運用グループであるスタンダード・ライフ・アバディーン・グループの中核的運用会社です。
- 同グループは、「アバディーン・スタンダード・インベストメンツ」ブランドのもと、アクティブ運用にコミットし、世界で資産運用ビジネスを展開しています。

（出所）アバディーン・スタンダード・インベストメンツ提供の資料を基に委託会社作成

当ファンドの良好な運用パフォーマンスを生み出す源泉は何にあるのですか？

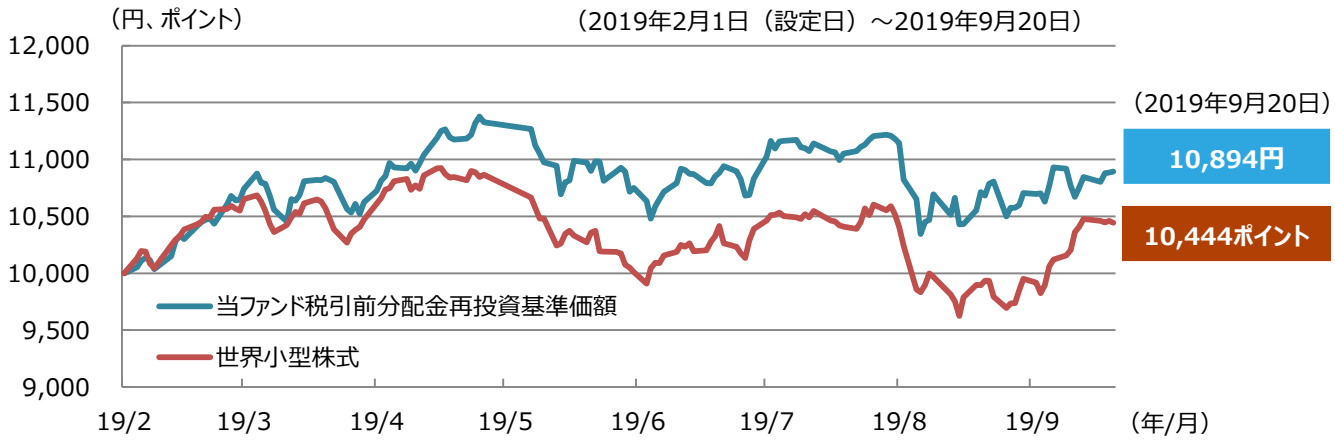
三井住友DSアセットマネジメント　投信営業第一部　若松紅里

【若松】
まず当ファンドの運用について伺いたいと思います。

2019年の株式市場は、トランプ米大統領の発言や、世界的な金融緩和への期待感などから、不安定な値動きを繰り返す環境となっています。

そのような市場環境においても、当ファンドの運用パフォーマンスが設定から良好に推移している理由はどこにあるのでしょうか。

当ファンド等のパフォーマンス推移



設定からの騰落率（2019年9月20日時点）

当ファンド	世界小型株式
8.9%	4.4%

（注1）当ファンドの税引前分配金再投資基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。
（注2）世界小型株式（円換算ベース）は2019年2月1日の数値を10,000として指数化。
（注3）世界小型株式はMSCI ACWI Small Cap Index（円換算ベース、配当込み）。当ファンドのベンチマークではありません。
（注4）当ファンドの騰落率は税引前分配金再投資基準価額を基に算出したものであり、実際の投資家利回りとは異なります。
（出所）Bloombergのデータを基に委託会社作成

※ 上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
※ ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは8ページおよび投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

知られていない小型株に投資することが、パフォーマンスを生み出す源泉です。

【マックロウ氏】
誰もが知っている大型株ではなく、**あまり知られていない小型株に注目して投資を行っている**点です。銘柄の発掘は、スタンダード・ライフ・インベストメンツ・リミテッドの小型株式運用戦略の専任チームが行っています。

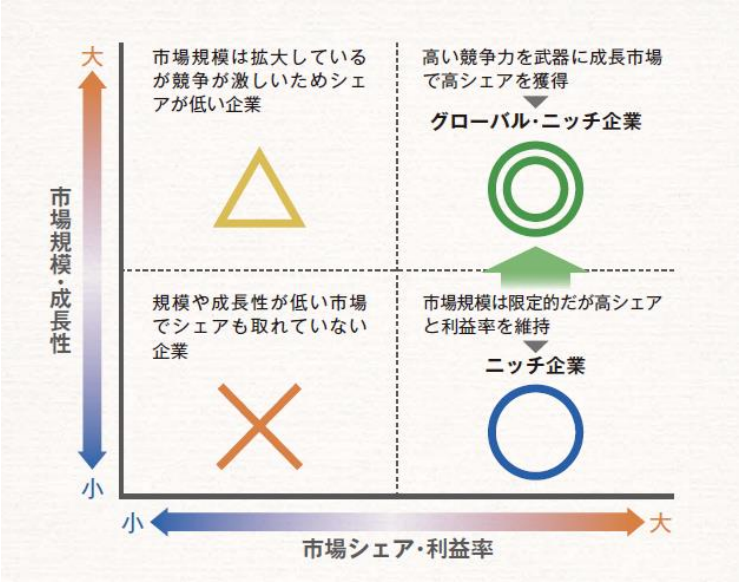
当ファンドが投資している小型株の一番の特徴は、**収益成長の持続可能性が高い企業**ということです。この小型株運用戦略こそが、良好なパフォーマンスを生み出す一番の源泉となっています。

スタンダード・ライフ・インベストメンツ・リミテッド
エクイティ・インベストメント・スペシャリスト
グラハム・マックロウ氏

【若松】
収益成長の持続可能性が高い企業とは、具体的にどういう企業のことを指すのでしょうか。

当ファンドが注目する「グローバル・ニッチ企業」のイメージ

※ 下図はイメージです。



（出所）各種資料を基に委託会社作成

【マックロウ氏】
具体的には、特定の市場で高い市場シェアと利益率を維持している企業の中でも、その**特定分野において、技術力や商品力などで高い競争力**を持ち、**より広い地域や分野でも高いシェアを獲得**できる、**「グローバル・ニッチ企業」**だということです。将来の大企業となりうる有望な企業なのです。

※ 上記は過去の実績、当資料作成時点での市場見通しおよび運用方針であり、将来の運用成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更することがあります。

投資対象とする小型株は、創業間もない新興企業が中心ですか？

【若松】
将来の大企業となりうる有望な小型企業に投資する、ということですが、小型株に投資すると聞くと会社設立から間もない新興企業に投資する、という印象があります。

実際のところ、どうなんでしょうか。

老舗企業でも新興企業でもなく、「グローバル・ニッチ企業」に投資します。

【マックロウ氏】
必ずしもそうではありません。当ファンドが投資している企業の中には、創業から20～30年と歴史がある会社も多くあります。そうした**歴史のある企業も含めて創業以来培ったノウハウの蓄積により、特定の分野において他社に負けない商品や技術を持っている企業へ投資**します。

当ファンドが投資対象とする**「グローバル・ニッチ企業」**とは、自国でビジネスモデルを確立した後、徐々に売上げを国外へと拡大し、グローバル展開しても、**高い市場シェア**を握り、**高い利益率**を維持しながら、**高い成長性**が期待できる企業であり、投資妙味が高いと考えています。

「グローバル・ニッチ企業」の主な特徴

※ 下図はイメージです。

（出所）各種資料を基に委託会社作成

※ 上記は過去の実績、当資料作成時点での市場見通しおよび運用方針であり、将来の運用成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更することがあります。

当ファンドの最大の魅力はどこにあるとお考えですか？

【若松】
当ファンドの最大の魅力はどこにあるとお考えでしょうか？

徹底した企業調査が、当ファンドのパフォーマンスにつながっている点です。

【マックロウ氏】
当ファンドは設定後、約半年が経過しましたが、良いスタートが切れたと思っています。好調に推移している理由を分析すると、非常に面白いことがわかります。それは、あまり**世界情勢に左右されていない**ということです。

【若松】
世界情勢に左右されていないとのことですが、それはなぜでしょうか？

【マックロウ氏】
ご存知の通り、2019年に入ってからも、世界の株式市場はトランプ米大統領の発言等に一喜一憂させられています。
とりわけ、中国との貿易摩擦問題は、株式市場をまるでシーソーのように上下させています。

そうした中、当ファンドは、世界小型株式（円換算ベース）を上回り*、総じて堅調に推移しています。**景気変動に左右されにくく持続的な成長が期待される「グローバル・ニッチ企業」が投資対象であることが、その要因である**と分析しています。当社では年間400件以上の企業訪問や経営陣とのミーティングなど、**徹底した企業調査で投資銘柄を発掘**しています。　（＊2ページをご参照ください。）

【若松】
「世界小型株厳選ファンド」の魅力が改めてよくわかりました。本日はありがとうございました。

【マックロウ氏】
今後も投資家の皆さまに喜んでいただけるよう、真摯に運用を行ってまいります。本日はありがとうございました。

※　上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

運用チームがいま、注目している業種、銘柄をご紹介します。

①技術革新関連　◆既存テクノロジーを破壊するイノベーションを有する企業◆

一般にテクノロジー企業と言うとGAFA（グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾンの頭文字を取った呼称）を連想しますが、伝統的なビジネスモデルからシェアを奪っている、あるいは、新たな市場を創出している企業に注目しています。

注目銘柄

アッペン（豪州）

データ・アノテーション*と呼ばれる新サービスを駆使し、膨大なデータを活用する企業に対するソリューションを提供しています。

*データ・アノテーションとは、大量のデータの集計・分析を可能にするために、様々な個別のデータにタグ付けをするものです。

アスペン・テクノロジー（米国）

石油関連企業等に対して、最適な石油精製施設メンテナンスのタイミングの管理等といったソリューションを提供しています。

アラーム・ドット・コム（米国）

モバイル上でセキュリティの管理ができる等、さまざまなセキュリティ関連サービスを提供しています。

②ヘルスケア関連　◆健康に対する意識の高まり◆

今、世界では長寿化に伴い、人々の健康に対する意識の高まりから、良い歯を維持したいと考える人が増えています。

注目銘柄

デンティウム（韓国）

インプラント等のサービスを提供しています。

オドントプレブ（ブラジル）

歯科治療向けの保険サービスを提供しています。歯に対する関心が高いブラジルで、同保険のニーズが高まっています。

③アパレル関連　◆アスレジャー人気の高まり◆

海外ではジムで運動するようなスポーツウエアを中心にしたファッションスタイルを意味する、アスレチックとレジャーを組み合わせた造語の“アスレジャー”が人気です。

注目銘柄

JDスポーツ・ファッション（英国）

NIKEやアディダスと提携して独自商品の販売等をグローバルで展開しています。

MAPA（インドネシア）

インドネシアでスポーツ用品販売を行う同社は、周辺国においても高いシェアを有しています。

（注）上記の業種、銘柄紹介の写真はイメージです。
（出所）アバディーン・スタンダード・インベストメンツ提供の資料を基に委託会社作成

※ 上記は組入銘柄の例であり、当ファンドにおいて今後も当該銘柄の保有を継続するとは限りません。また個別銘柄に言及していますが当該銘柄を推奨するものではありません。
※ 上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドの特色

1. マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式へ投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
   - ・世界の金融商品取引所に上場する株式のうち、小型株式を実質的な主要投資対象とします。
   - ・ボトムアップアプローチによるファンダメンタルズ分析により、投資魅力のある銘柄に厳選投資します。
   - ・実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
   - ・当ファンドは、「世界小型株厳選マザーファンド」を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。

2. マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、スタンダード・ライフ・インベストメンツ・リミテッドへ委託します。

3. 毎年1月、7月の25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として収益の分配を目指します。
   - ・分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
   - ・収益分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。
   - ・将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク　（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）

○当ファンドは、マザーファンドを通じて、実質的に株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産は、為替の変動による影響も受けます。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

○信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

○投資信託は預貯金と異なります。

○基準価額を変動させる要因として主に、■株価変動に伴うリスク　■為替リスク　■カントリーリスク　■新興国への投資のリスク　■信用リスク　■流動性リスク　があります。
ただし、上記はすべてのリスクを表したものではありません。

分配金に関する留意事項

○分配金は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

○分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

○分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

○受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

ファンドの費用　（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）

投資者が直接的に負担する費用

● 購入時手数料　購入価額に3.24%＊1（税抜3.0%）を上限として販売会社毎に定めた率を乗じて得た額とします。
※詳細については、お申込みの各販売会社までお問い合わせください。
＊1 消費税率が10%となった場合は、3.3%となります。
購入時手数料は、販売会社による商品・投資環境の説明および情報提供、ならびに販売の事務等の対価です。

● 信託財産留保額　ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

● 運用管理費用（信託報酬）　毎日、信託財産の純資産総額に年率1.9008%＊2（税抜1.76%）を乗じて得た額とします。運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
＊2 消費税率が10%となった場合は、年率1.936%となります。

＜運用管理費用(信託報酬)の配分＞

委託会社	年率0.98%（税抜）	ファンドの運用等の対価
販売会社	年率0.75%（税抜）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	年率0.03%（税抜）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価

※委託会社の報酬には、スタンダード・ライフ・インベストメンツ・リミテッドへの投資顧問報酬が含まれます。投資顧問報酬の額は、信託財産に属するマザーファンドの時価総額に対して年0.68%以内の率を乗じて得た金額とし、委託会社が報酬を受け取った後、当該報酬から支払います。

● その他の費用・手数料　財務諸表の監査に要する費用、有価証券売買時の売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用等は信託財産から支払われます。
※監査報酬の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。監査報酬以外の費用等につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みメモ　（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）

● 信託期間　2019年2月1日から2029年1月25日（約10年）
● 購入単位　販売会社がそれぞれ定めた単位とします。
※お申込みの販売会社までお問い合わせください。
● 購入価額　購入申込受付日の翌営業日の基準価額
● 換金単位　販売会社がそれぞれ定めた単位とします。
※お申込みの販売会社までお問い合わせください。
● 換金価額　換金申込受付日の翌営業日の基準価額
● 換金代金　換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
● 購入・換金申込受付不可日　ニューヨーク証券取引所、英国証券取引所、ニューヨークの銀行またはロンドンの銀行の休業日と同日の場合はお申込みできません。
● 決算日　毎年1月、7月の25日（該当日が休業日の場合は翌営業日）
● 収益分配　年2回の決算時に分配を行います。

投資信託に関する留意点

○投資信託をご購入の際は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください。
　投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の本支店等にご用意しております。
○投資信託は、元本保証、利回り保証のいずれもありません。
○投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。
○投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
○銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

委託会社およびその他の関係法人

■委託会社（ファンドの運用の指図を行う者）
三井住友DSアセットマネジメント株式会社　　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第399号
加入協会　：　一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

■受託会社（ファンドの財産の保管および管理を行う者）
三井住友信託銀行株式会社

■販売会社

取扱販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第52号	○	○	○	
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第170号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第50号	○			○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	

（50音順）

【重要な注意事項】

- 当資料は三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

作成基準日：2019年9月25日